



学校だより 7月号

石川小学校 学校教育目標
育てます。「石川魂」

令和4年6月30日
横浜市立石川小学校
校長 寺園 淳

意図的な学びの場

校長 寺園 淳

朝、登校してきた子どもたちが校庭を見ながら何か、話しています。子どもたちが見つめる先に視線を移すと、2羽のカルガモがゆったりと校庭を散歩しています。また、自然園では大人の背丈ほどのヒマワリが色鮮やかに何十本も咲き誇っています。それだけではありません。コスモスやシロツメクサもそれに競うように花を咲かせています。天気の良い日にはたくさんの蝶やトンボが飛び交っています。その様子を眺めているとほほをなでる風が心地よく感じます。このような素敵な自然園に生まれ変わったのは、昨年度の3年2組の石川の時間（総合的な学習の時間）の学習の成果です。子どもたちが自然園にもっと多くの蝶や鳥が来てほしいと願い、横浜市「子どもを育む空間での緑の創出・育成事業」を活用しながら学習を進めました。全校児童に自然園の整備の仕方を伝えたり、種まきをお願いしたり、目的をもって取り組んだ結果、今のような素敵な自然園が広がっています。このように学習したことが成果となって現れた時、子どもたちの自己肯定感は大きく育っていきます。



6年生は7月2日からの2泊3日で日光に体験学習に出発します。今年は学校説明会でお伝えした通り、子どもの主体性を育てることを大きなねらいとしています。もちろんこの体験学習でも主体性を育むためのプログラムが準備されています。その一つが戦場ヶ原のハイキングです。戦場ヶ原はほとんどの子どもが初めて行く場所なので、教師が引率してコースを回ることもできますが、石川小では子ども同士のグループ行動でゴールの湯の湖をめざします。この取り組みは昨年度も行っていますが、より長い距離での挑戦となります。子どもたち一人ひとりが主体的に仲間と協力して、無事に湯の湖に到着できることを願っています。そして主体的に取り組むことで、成し遂げた満足感を味わってほしいです。

6月11日実施の土曜参観日は、子どもたちの運動会とは異なる活躍の場を、多くの保護者の皆様に参観していただきました。その後の学校説明会では、今年度の全ての教育活動が子どもの主体性を育むことにつながるよう進めていくことを各担当者よりお伝えしました。また今回の運動会は、来年度、感染症の拡大が収束し、1日開催ができることを想定した運動会につなげるために「時間厳守」を教職員の合言葉として取り組みました。当日は、保護者の皆様の負担軽減につながるよう給食を実施したいと考えています。そのためにも時間通りに進行できることが重要となります。このように教育活動は目的を明確にし、意図的に構築されなければなりません。そのためにも私たち教職員は研修を重ねてまいります。保護者の皆様、地域の皆様のお力添えをお願いいたします。